

SIGNAL

2021
SPRING
春号

シグナル
No.152
2021年3月15日発行
[年4回発行]

こういう時だから！「外国人市民によるスピーチコンテスト」



コロナ禍でつながりが失われがちな今、こういう時だから「外国人市民による日本語スピーチコンテスト」をと、今年第26回はオンラインで、自宅から誰でも外国人市民のさまざまな想いを聞けるように開催しました。

外国人参加者は、川崎で生活しながら日本語を勉強している留学生や企業で働いている人などです。コロナ禍での想いや日本での体験から考えたことなどをスピーチされました。審査の間には、フランス人落語パフォーマー、シジル コピーニ (尻流 複写二) さんが軽妙な語り口で会場を沸かせてくれました。



シジル コピーニ (尻流 複写二)
南フランスのニース出身。2010年に上方落語の林家染太との出会いをきっかけに、本格的に落語を教わる。2016年より浅草「東洋館」にてレギュラー出演中。<https://cyco-o.com/> (Cyril COPPINI OFFICEのサイト)

CONTENTS [目次]

特集 ようこそ「図書・資料室」の世界へ 図書職員のお仕事／読んでおきたい一冊	2,3
「第26回外国人市民による日本語スピーチコンテスト」 入賞者にインタビュー	4
外国人インタビュー②⑥ 立古ダニエラさん(チェコ共和国出身)	5
海外生活レポート⑬ ガーナに赴任、藤本高さん	6
イベント・講座案内 賛助会員募集中!	7
民間団体紹介⑬ アムネスティかながわグループ	7
外国人支援の取り組みにフォーカス! 「災害時多言語支援センター設置訓練」	8

写真: 編集ボランティア 安田芳郎